

令和3年度
(第11期)

事業状況報告書

自 令和3年 4月 1日

至 令和4年 3月31日

事業状況報告書

本年度は、主な事業として、表彰、助成、講演会、標準化、自主研究などの事業を実施し、所期の成果を挙げ、ウェアリング技術の向上、発展及び普及啓発に貢献した。

1. 会 議

(1) 理 事 会 (Web 開催)

令和3年 6月 2日 (水) [第21回]

令和4年 3月 8日 (火) [第22回]

(2) 評 議 員 会 (Web 開催)

令和3年 6月 18日 (金) [第21回]

令和4年 3月 16日 (水) [第22回]

(3) 審 査 委 員 会 (Web 開催)

令和4年 2月 9日 (水)

2. 主要事業の概要

2. 1 スガウェアリング財団賞表彰及び助成

(1) 第39回表彰・第40回助成贈呈

下記の通り実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、令和3年4月28日(水)に贈呈式をWebにて開催した。なお、記念祝賀会の開催は中止した。Web開催後、贈呈式の動画を関係者に1か月間限定で配信した。

[表 彰] 科 学 技 術 賞…1件
科 学 技 術 功 労 賞…1件
科 学 技 術 奨 励 賞…1件

[助 成] 研 究 助 成…3件 … [添付資料①]

(2) 第40回表彰・第41回助成 候補者募集

募集期間は令和3年7月～10月末までとし、全国の大学及び学会・協会・産業界・団体等約280機関に対して推薦を依頼した。また、当財団ホームページで募集した。

(3) 第40回表彰・第41回助成 選考及び決定

令和3年11月～12月にかけて書類選考を実施した後、ヒアリングを令和4年1月25日(火)、1月27日(木)、2月2日(水)、2月3日(木)に実施、令和4年2月9日(水)の審査委員会において審査し、次の表彰・助成を選考、令和4年3月8日(火)第22回理事会において決定した。

[表 彰] 科 学 技 術 功 労 賞…1件
技 術 功 労 賞…1件

[助 成] 研 究 助 成…5件
国 際 会 議 助 成…1件 … [添付資料②]

表彰・助成贈呈式は、令和4年4月26日(火)にWeb開催することとした。

2. 2 講演会事業

本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、対面式のスガウェザリング学術講演会を行わず、代替行事として下記のWebセミナーを行った。講師のみスガ試験機(株) NSホールにて講演を実施し、Web配信とした。

第2回スガウェザリングWebセミナー2021

開催日：令和3年12月1日（水）

方 法：ライブ配信

参加者：379名

…〔添付資料③〕

2. 3 標準化事業

本年度は、ウェザリング技術に関する標準化事業として、下記規格の改正原案の作成を行った。

JIS L 0841（日光に対する染色堅ろう度試験方法） 改正

JIS L 0842（紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法） 改正

JIS L 0841 と JIS L 0842 は令和3年12月20日に（一財）日本規格協会より発行された。

2. 4 自主研究

(1) 耐候光研究

促進耐候性試験の中で広く用いられているキセノンランプによる促進耐候性試験方法について調査した。プラスチック、ゴム、塗料、繊維、電子部品、画像など各分野のISO、IEC、ASTM規格の規定を比較し、また、最近の規格内容の改正点をまとめた。その成果を下記講演会で発表した。

当財団 主催「第2回スガウェザリングWebセミナー2021」

講 演 日：令和3年12月1日（水）

講 演 演 題：「キセノンランプを用いた様々な耐候性試験とその条件」

講 演 者：当財団耐候研究委員会 喜多英雄 委員

(2) 腐食研究

代表的な塩水噴霧試験の規格ISO 9227に規定されている腐食照合試験片（鋼板）をはじめ、海外の鋼板を入手し、各々の成分分析及び表面粗さ測定を実施した。ISO 9227規格の規定値との比較を行った。

2. 5 普及啓発事業

Webセミナー開催に当り、「第2回スガウエザリングWebセミナー2021要旨(PDF形式)」を発行した。
Webセミナー参加者に販売すると共に、以後関係者に販売し、ウエザリング技術の普及活動を行った。

3. 外部団体への協力

3. 1 外部団体等の研究への参画及び協力

当財団より下記委員会に委員を派遣し、協力した。

- (1) 日本学術振興会 染色堅ろう度第134委員会
- (2) 日本学術振興会 繊維・高分子機能加工第120委員会
- (3) (一社) 繊維評価技術協議会 国際標準化委員会
- (4) (一社) 繊維評価技術協議会 繊維標準化委員会

3. 2 外部団体の会議開催などの協賛及び協力

- (1) (一財) 日本ウエザリングテストセンター主催の「令和3年度ウエザリング技術研究成果発表会」に協賛した。
〔令和3年11月25日(木) オンライン開催〕
- (2) (一社) 日本鋼構造協会主催の「第44回鉄構塗装技術討論会」に協賛した。
〔令和4年1月13日(木)～14日(金) 市ヶ谷自動車会館〕

第39回 スガウェザリング財団賞 表彰

[科学技術賞] 本賞：表彰状 副賞：(1)正倉院記念楯 (2)賞金50万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1	はやかわやすひろ 早川泰弘 国立文化財機構 東京文化財研究所 保存科学研究センター長	可搬型蛍光X線分析装置による文化財調査 -日本絵画の彩色材料に関する新知見-	国立文化財機構東京文化財研究所

[科学技術功労賞] 本賞：表彰状 副賞：(1)ギリシャ神話像記念楯 (2)賞金20万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1	あさくら まもる 朝倉 守 (地独) 東京都立産業技術研究センター	染色堅ろう度に関わる研究とその標準化	(地独) 東京都立産業技術研究センター

[科学技術奨励賞] 本賞：表彰状 副賞：(1)ギリシャ神話像記念楯 (2)賞金20万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1	ふじいともゆき 藤井朋之 静岡大学 工学部 機械工学科 准教授	ステンレス鋼における応力腐食割れ寿命評価法の確立	静岡大学

(敬称略)

第40回 助成金 贈呈

[研究助成]

	受領者	助成課題	推薦団体	決定額
1	かめやま ゆ たか 亀山雄高 東京都市大学 理工学部 機械工学科 准教授	粒をもって塵の付着を制する、ナノ凹凸作製技術の開発	東京都市大学	50 万円
2	つる さ き きょういち 津留崎恭一 (地独)神奈川県立産業技術総合研究所 化学技術部 グループリーダー	ゴム材料の初期劣化を捉える非線形粘弾性指標の探索	(地独) 神奈川県立産業技術総合研究所	50 万円
3	ど い こう たろう 土井康太郎 物質・材料研究機構 構造材料研究拠点 独立研究者	高酸素腐食促進試験法の不働態化金属への提要	物質・材料研究機構	100 万円
			合計	200 万円

(敬称略)

[国際会議助成]

該当なし。

第40回 スガウェザリング財団賞 表彰

[科学技術功労賞] 本賞：表彰状 副賞：(1)ギリシャ神話像記念楯 (2)賞金20万円

	候補者	研究業績の名称	推薦団体
1	いわせ ゆか 岩瀬由佳 (一財)化学物質評価研究機構 東京事業所 高分子技術部 主任	製品の使用環境を想定したゴム材料のオゾン劣化に関する研究とその標準化	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO/TC45 国内審議委員会 ・ (一社) 日本ゴム工業会 ・ 長岡技術科学大学

[技術功労賞] 本賞：表彰状 副賞：(1)ギリシャ神話像記念楯 (2)賞金10万円

	候補者	研究業績の名称	推薦団体
2	しもいのぶひろ 下井信浩 秋田県立大学 システム科学技術学部 教授	鋼材接合部の健全性に関する長期モニタリング技術の構築	秋田県立大学

(所属・肩書きは受賞決定当時 敬称略)

第41回 助成金 贈呈

[研究助成]

	候補者	助成課題	推薦団体	決定額
1	おおやまようすけ 大山陽介 広島大学 大学院先進理工系科学研究科 工学部 教授	メカノフルオロクロミズムを利用したひずみ・損傷の可視化検出法の確立	広島大学	50万円
2	しとみ ひろし 薮 洋司 産業技術総合研究所 物理計測標準研究部門 光放射標準研究グループ 研究グループ長	標準白色面の紫外放射による劣化特性およびその抑制に関する研究	産業技術総合研究所	100万円
3	ちば まこと 千葉 誠 旭川工業高等専門学校 物質化学工学科 准教授	乾湿繰り返し環境にて形成するアルミニウム合金酸化皮膜の表面電位と耐食性	旭川工業高等専門学校	100万円
4	ふじいともゆき 藤井朋之 静岡大学 工学部 機械工学科 准教授	水素容器用アルミニウム合金の応力腐食割れ発生条件の検討	静岡大学	100万円
5	まつおみゆき 松尾美幸 京都大学 生存圏研究所 准教授	木材の長期経年変化を再現する促進劣化法の開発	京都大学 生存圏研究所	50万円
			合計	400万円

(所属・肩書きは助成決定当時 敬称略)

[国際会議助成]

	候補者	国際会議名	推薦団体	決定額
1	いまづせつお 今津節生 奈良大学 文学部 文化財学科 文学部長 教授	東アジア文化遺産保存シンポジウム in 札幌	日本文化財科学会	50万円
			合計	50万円

(所属・肩書きは助成決定当時 敬称略)

第2回スガウエザリング Web セミナー2021

2nd SWTF WEB SEMINAR 2021 : WEATHERING

日 程 : 2021年12月1日(水)

開 催 : ライブ配信

10:30~ 10:35	開会のご挨拶	スガウエザリング技術振興財団 理事長	須賀 茂雄
1 10:40~ 11:15	暴露試験技術と水素脆化評価技術の高度化と普及による PC 鋼材使用設備の信頼性向上 (第38回スガウエザリング財団賞表彰 科学技術賞受賞)	東京電力ホールディングス株式会社 経営技術戦略研究所 首席研究員	市場 幹之
2 11:20~ 11:55	鋼製構造物各部位の腐食環境と耐食性評価 (第38回スガウエザリング財団賞表彰 科学技術賞受賞)	国立研究開発法人物質・材料研究機構 構造材料研究拠点 副拠点長	片山 英樹
3 13:15~ 13:50	北方圏での大気腐食挙動におよぼす雪の影響 (第39回スガウエザリング財団 研究助成成果)	北海道大学 大学院工学研究院材料科学部門 准教授	坂入 正敏
4 13:55~ 14:30	キセノンランプを用いた様々な耐候性試験とその条件	公益財団法人スガウエザリング技術振興財団	喜多 英雄
5 14:45~ 15:35	マイクロプラスチックに関する課題と研究の動向 (特別講演)	群馬大学 大学院理工学府環境創生部門 教授	黒田 真一
6 15:40~ 16:30	わが国における腐食コスト (特別講演)	公益社団法人腐食防食学会・一般社団法人日本防錆技術協会 腐食コスト調査委員会 委員長	篠原 正
16:30~ 16:35	閉会のご挨拶	スガウエザリング技術振興財団 技術顧問・評議員	伊藤 勲

(敬称略)

主 催 : 公益財団法人スガウエザリング技術振興財団
 後 援 : 文部科学省
 協 賛 : (一社) 軽金属製品協会 (公社) 高分子学会
 (一社) 色材協会 ステンレス協会 (一社) 繊維学会
 (一財) 日本ウエザリングテストセンター (一社) 日本ゴム協会
 (一社) 日本塗料工業会 日本プラスチック工業連盟
 (一社) 日本防錆技術協会 (一社) 表面技術協会
 (公社) 腐食防食学会 スガ試験機(株)